

## 第8回北広島市総合計画推進委員会 会議録

日 時	平成 25 年 9 月 17 日（火） 16:00～17:30
会 場	市役所本庁舎 2 階会議室
出席委員	天羽 浩委員、澤井将美委員、鈴木聡士委員、東 愛子委員、桂 裕章委員
欠席委員	なし
市出席者	高橋孝一企画財政部長 【政策調整課】川村裕樹課長、志村 敦主査、貝森博樹主事 【行政推進課】川口昭広課長、杉山正一主査 【財 政 課】中屋 直課長、奥山俊明主査

### 1. 開会

「委員の過半数が出席していることから、委員会が成立していること」を確認した。

### 2. 会議録署名委員の選出

委員長の指名により、天羽委員を第 8 回推進計画委員会会議録の署名委員としたい旨提案があり、了承された。

### 3. 議事

#### 【議案 1】にぎわい・魅力づくりプロジェクトについて

事務局から配布資料の確認、説明した後、提言シートの整理、提言書（案）について、意見交換を行った。

○委員長 はじめに提言シートの整理について質問・意見・確認等があれば発言願いたい。

○A委員 提言シートの整理と提言書のなかで、旧名称の「エルフィンロードハーフマラソン」と名称変更となった「30 kmロードレース」が混在している印象を受けるので、統一するべきでないか。

○事務局 統一して表記することとしたい。

○委員長 「30 kmロードレース」は、市の大きなイベントのひとつなので具体的提言のなかで、もう少し意見を盛り込むことが望ましいと感じる。

○B委員 きたひろしま 30 kmロードレース連携事業について、大学生や高校生のボランティアを活用して運営しているということだが、どのように募集しているのか。札幌市では連携協定を結んだ大学にお願いしているような話を聞いたので、確認したい。

○事務局 ポスターなどで広く周知をして募集するというのではなく、大学生については、連携協定を結んでいる道都大学に直接依頼をして運動部の学生にご協力

## 第8回北広島市総合計画推進委員会 会議録

いただいた。高校生については、例年協力していただいている陸上部やボランティア部の学生に顧問等を通して直接依頼している。

- B委員 シティセールス事業に関連して、以前は「エルフィン」や「妖精の住むまち」といったロゴやキャッチフレーズがあったが、最近はその使ったPRが見られない。この位置づけはどうなっているのか。もっと積極的に市内外にアピールしていくべきでないか。
- 事務局 「エルフィン」は市のイメージマスコットとして規則を決めて活用している。しかし、実態としては「クラーク博士」のロゴが多く見られるようになった状況である。  
今後のシティセールスでは、まちのイメージをうまく伝えるためにも「エルフィン」と「クラーク博士」を整理して活用していきたい。
- 委員長 「エルフィン」については具体的提言の中に盛り込むべきである。  
続いて提言書（案）の中身についての議論に移りたい。  
はじめに「1. 魅力づくりと情報発信」の部分について意見交換を行いたい。
- A委員 「エコ・ミュージアム」という言葉は、市民が見たときにわかりづらいように感じるので、表記の仕方を工夫したほうがいいのではないか。
- 事務局 前段に説明的な文言を付け加えるなど、わかりやすいように表記したい。
- B委員 今後に向けた提言の一つ目に、「…多くの人々を惹きつけることができるよう、サービスなどの…」とあるが、具体的にどのようなことを指すのか。
- 事務局 まちの産品や行政サービスなどの広い意味でのサービスとして表記している。ご指摘を受けて、補足するのが望ましいため、これも文言を付け加えて、わかりやすく表記したい。
- 委員長 具体的提言の中の「広報活動については、広報紙を費用対効果の観点からWEBサイトの活用などを検討するほか…」という部分について、趣旨が伝わりづらいと感じる。
- 事務局 「広報活動については、広報紙のあり方を検討するほか…」と直すこととしたい。
- 委員長 続いて「2. にぎわいの創出と交流の促進」の部分について意見交換を行いたい。

## 第8回北広島市総合計画推進委員会 会議録

- B委員 全体に通じて言えることだが、「今後に向けた提言」の中で、文の終わりが「…と考えられる」となっているが、「…必要である」や「…望まれる」などと変えるべきではないか。
- A委員 委員会として「…必要である」というふうに統一するというのであれば構わないが、「…必要である」という言い方は、かなり強い意味になってしまうので、「…検討すべきである」程度に抑えるべきではないか。
- 事務局 前回の提言書に則して作成している。前回はニュアンス等も考慮して「…考えられる」としている表記もあった。ここの部分については委員会の中で決めていただきたい。
- B委員 委員全体の総意であれば、「…検討すべきである」でも良いと思う。また、「…望まれる」、「…期待される」という言葉で括るのも良いと思う。
- 委員長 ある程度統一するべきと考えるが、文末については検討させていただきたい。
- A委員 「JR北広島駅やJR上野幌駅周辺のまちづくりの推進について市の顔としてふさわしい」という文言があるが、JR上野幌駅を市の顔として位置付けるべきなのか。
- 事務局 JR上野幌駅周辺のまちづくりについても、総合計画の中では触れており、駅のバリアフリー化や駅前の広場を整備していきたいという動きがある。しかし、提言のなかで「市の顔」と言い切れないということもあるので、JR北広島駅とJR上野幌駅を分けて表記することとしたい。
- 委員長 JR北広島駅とJR上野幌駅の位置づけを分けて表記するのが望ましいと考える。  
続いて「3. 活気ある産業の創出」の部分について意見交換を行いたい。
- C委員 「具体的提言」のなかで「企業誘致について」は、当たり障りのない表記になっているが、もう少しわかりやすく、具体的な施策や目標を付け加えるべきでないか。
- 事務局 具体的な内容を盛り込んで表記することとしたい。
- D委員 企業誘致に関連して、今後、市街化区域で輪厚のような工業団地になるような場所、計画はあるのか。

## 第8回北広島市総合計画推進委員会 会議録

---

- 事務局 工業団地の計画については、札幌、北広島、石狩、江別、小樽で構成される札幌圏域全体のなかで方向性を決めて動いていくこととなっている。  
商業・工業の需要は伸びしろがあると見込んだうえで輪厚工業団地が造成されたが、石狩、江別の工業団地に余剰地があるので、輪厚の次に市内に新たな工業団地をつくるということは難しいと予想される。
- D委員 先日、テレビの報道で東京の企業が、徳島県の僻地へ若手の社員を送り出し、サテライトオフィスを構えるようなかたちで研究開発を行う事例があった。  
北広島市においても企業の誘致については、新産業の創出の観点から現在行っているハード面での誘致だけでなく、若い人材や市の付加価値を高められるような人材を結集させるような誘致活動を積極的に行うべきではないか。
- C委員 今の人材誘致の部分は、「具体的提言」のなかの「産・学・官の連携をめざす北広島クラスター構想」についての提言にも関わってくるものであると感じる。  
この提言の「具体的な構想」についても、より明確にして表記するべきではないか。
- 事務局 ハード面での誘致だけではなく、ソフト面での誘致ということについても表記することで検討したい。
- 委員長 ソフト的な施策のひとつとして知的なものを集積させるということで、今の意見は具体的提言に取り入れるべきと考える。  
さまざまな意見を出していただいたことによって、おおよその方向性が固まったと感じる。今回出していただいた意見を反映させたものをベースに次回の委員会で議論し、提言書を完成させたい。

### 4. 連絡事項

「2014 推進計画策定方針」について

事務局から資料について、説明した。

### 5. その他（次回開催日程についてなど）

次回の推進委員会は10月8日（火）午前9時30分から開催することとした。

### 5. 閉会

会議録署名委員